

令和6年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立日出谷小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和6年4月18日(木)

4 調査の内容

(国語、算数) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校調査は、国語、算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
【20分程度】		

本校の調査結果の概況

小学校

<教科に関する調査> は全国平均正答率を上回ったもの



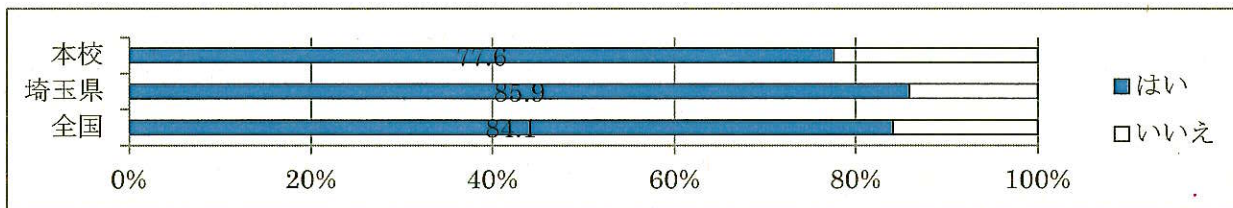
国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.5	66.2	64.4
情報の扱い方に関する事項	1	83.8	87.5	86.9
我が国の言語文化に関する事項	1	67.6	75.3	74.6
話すこと・聞くこと	3	51.8	61.6	59.8
書くこと	2	68.2	69.2	68.4
読むこと	3	71.2	72.0	70.7

算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	6	55.4	66.2	66.0
図形	4	62.2	67.1	66.3
測定	0			
変化と関係	3	42.3	51.7	51.7
データの活用	4	61.8	62.6	61.8

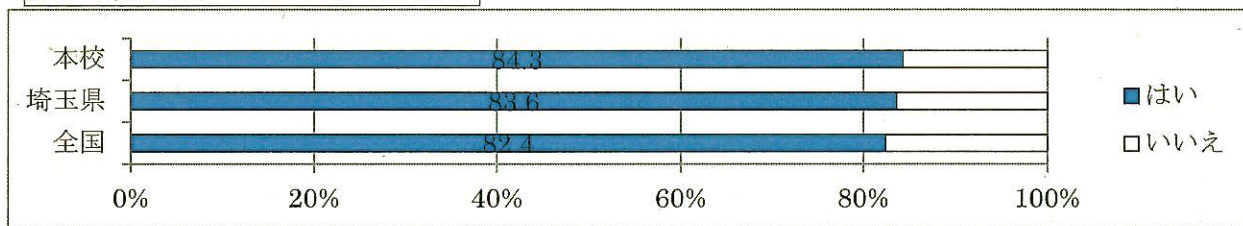
<児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

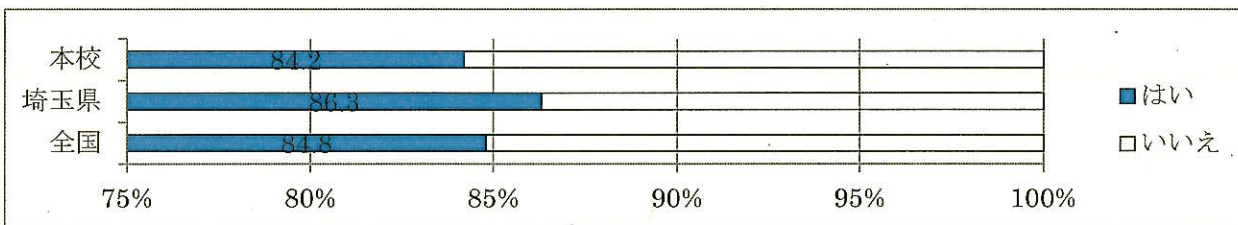
自分には良いところがあると思いますか。



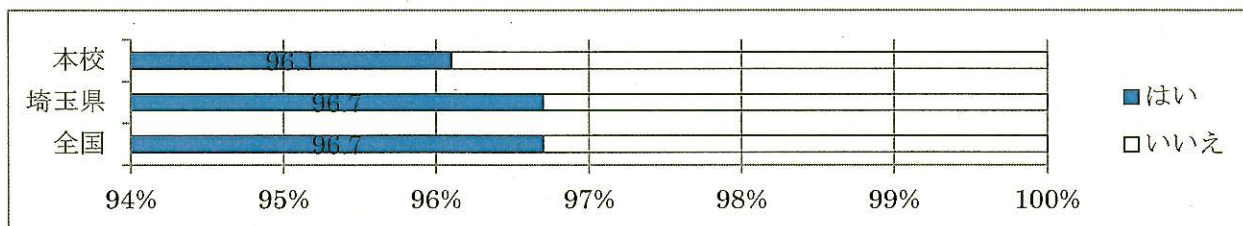
将来の夢や目標を持っていますか。



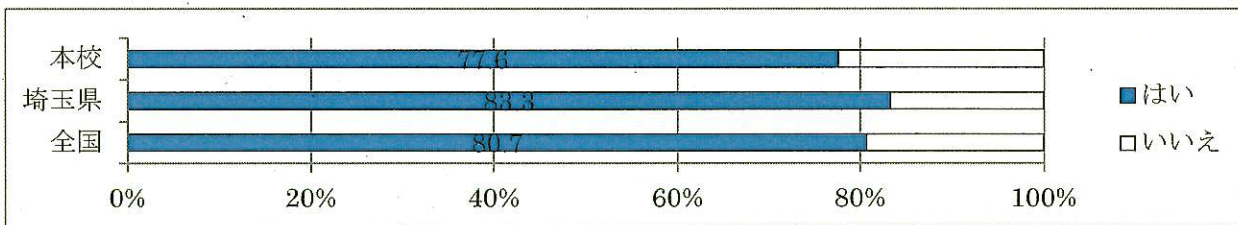
学校に行くのは楽しいと思いますか。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

「読むこと」では全国平均を上回り、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」に関しては、全国平均・県平均とあまり変わりはありませんが、「話すこと・聞くこと」で全国平均・県平均を大きく下回っており、本校の課題と言えます。

【問題（例）】

問題の概要

【話し合いの様子】で原さんが【物語】の何に注目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。



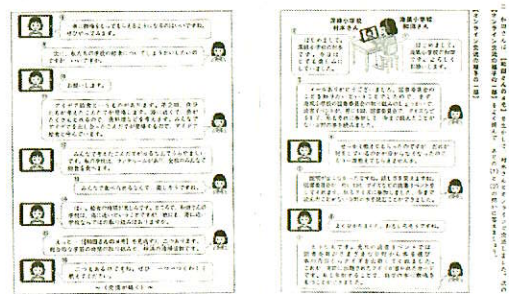
正答 (1)

人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題です。全国平均よりも 4.5%、県平均よりも 3.7%高い正答率でした。日頃の読書活動や様々な授業での問題を読み解く活動を通して、問題の意図や想像する力が身についてきていると考えます。

【問題（例）】

問題の概要

オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する。



正答 (4)

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題です。全国平均よりも 8.4%、県平均よりも 10.7%低い正答率でした。学習指導にあたっては、話し合いの展開や内容を踏まえて意見を整理したり質問の意図を読み取ったりすることができるよう指導を充実させていきます。

<算 数>

【領域別】

「データの活用」の領域以外で全国平均を下回っています。「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」の領域で全国平均・県平均を下回っており、本校の課題といえます。

【問題（例）】

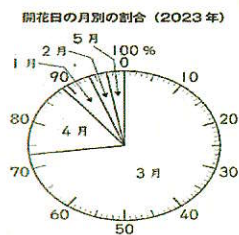
問題の概要

円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く

こうたさんは、桜の開花日について興味をもちました。桜の開花日とは、各地で基準となっている桜の木で5～6輪以上の花が開いた状態となった最初の日のことです。

(1) 全国各地の観測地のデータを調べたところ、地域によって桜の開花日がちがうことがわかりました。

下の円グラフは、2023年の開花日について、月別に整理し、その割合を表したものです。



「4月」の割合は、全体の何%ですか。答えを書きましょう。

正答 16%

円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる問題です。全国平均よりも5.7%、県平均よりも6.3%高い正答率でした。日頃から基礎的・基本的な知識や計算技能が身につくよう授業の工夫や反復練習を行っていたり、既習内容を生かして問題にとりくんでいる児童が多いため、正確な解答ができたと考えます。

【問題（例）】

問題の概要

540 ÷ 0.6 を計算する

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

(1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。

家から学校までの道のりは、540mです。あいなさんの歩はばを0.6mとします。



家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。

$540 \div 0.6$ を計算しましょう。

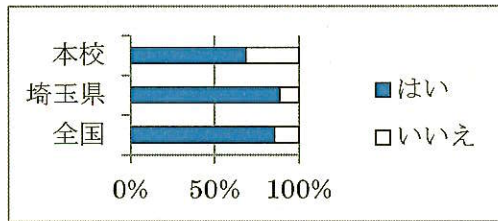
正答 900

除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる問題です。全国平均よりも21.5%、県平均よりも19.5%低い正答率でした。学習指導にあたっては、繰り返し計算練習をするとともに、ノート指導も徹底し、小数点の動かし忘れのないように、指導していきます。

<質問紙調査から>

【質問27】

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
 <「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と答えた児童の割合>



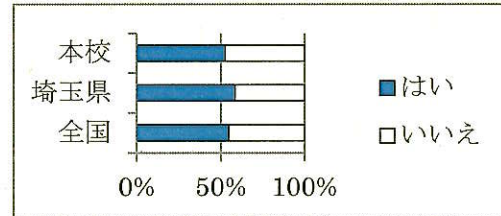
全国 85.5% 埼玉県 88.5% 本校 68.4%

コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している児童の割合は、全国や県の平均をやや下回っていますが、全ての教師が毎時間タブレット端末を授業で活用し、教育活動全体を通して情報活用能力の育成を推進しています。

【質問21】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と答えた児童の割合>



全国 54.6% 埼玉県 58.5% 本校 52.6%

学校の授業以外に勉強している児童の割合は、全国や県の平均を下回っています。

学校で計画を立てて学習に取り組む指導を行っていくとともに、学校と家庭が連携して家庭学習・自主学習の取組を充実させ、本校の目指す児童像である「自ら学ぶ子」を育てることで学力の向上につなげていきます。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[埼玉県学力・学習状況調査] 埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和6年5月15日（水）

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

(2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	13	59.4	63.1	14	62.1	65.1	15	57.4	62.8
情報の扱い方、我が国の言語文化	4	44.2	41.8	3	50.0	53.1	2	36.4	55.3
話すこと・聞くこと・書くこと	9	42.7	45.5	6	51.3	51.6	5	44.9	52.1
読むこと	4	34.4	39.9	8	45.6	48.0	9	42.1	49.4
※学力の伸びた児童の割合					↑↑	↑↑↑		↑↑	↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	13	65.0	65.5	14	48.8	50.9	13	44.6	56.1
図形	6	47.8	56.1	8	65.3	64.0	8	44.8	51.3
4年測定 5,6年変化と関係	6	61.7	63.2	6	47.9	48.6	7	54.7	58.8
データの活用	6	66.5	62.1	4	50.9	48.0	5	21.8	25.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑	↑↑		↑↑	↑↑

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段: 県の達成率、下段: 本校の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	93.5 88.4	94.2 97.5	94.3 92.2	
	② 授業の開始時刻	87.1 81.8	91.5 92.4	93.4 88.3	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	78.5 78.0	82.4 84.8	84.9 75.4	
	④ 整理整頓	73.8 67.6	76.8 82.3	76.0 78.0	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
		⑤ あいさつ	75.9 76.7	77.6 81.0	77.9 75.4
⑥ 返事		91.6 92.2	91.6 98.7	90.1 92.3	
4 ていねいな言葉づかいを身に付ける					
⑦ 正しい言葉づかい		83.2 88.4	88.8 89.9	88.2 89.6	
⑧ やさしい言葉づかい		82.7 89.7	86.7 91.1	84.5 83.2	
○約束やきまりを守ることができる		5 学習のきまりを守る			
		⑨ 学習準備	80.4 80.6	85.7 91.1	86.2 83.1
	⑩ 話を聞き発表する	77.7 79.3	79.2 78.5	76.0 71.5	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	88.3 94.8	88.5 89.9	86.7 75.4	
	⑫ 掃除・美化活動	89.5 89.6	89.6 93.7	87.9 84.4	

本校の学力向上の取組

授業における取組

☆1 教師一人一人が、よい授業づくりを行います。

- (1) 「なぜ」「どうして」が生まれる授業づくりをします。
- (2) 「学ぶ喜び」が味わえる授業づくりをします。
- (3) 「わかるようになる」「できるようになる」授業づくりをします。

■2 基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指した学習を推進します。

- (1) 一人一人に応じた個別指導や少人数指導、チームティーチングなどに取り組みます。
- (2) 単元開始前にレディネステスト等を実施し、児童の理解度を確認します。
- (3) ワークシート等を用いた単元ごとの習熟度・到達度の確認をします。

授業以外の取組

☆1 学習習慣を定着させます。

- (1) 児童自らが学習の見通しをもって、振り返りを行う学習習慣を身につけるために家庭と連携した自主学習（家庭学習）をより一層充実させます。
 - ・学習環境を整え、学習の習慣をつけましょう。
 - ・自分から計画的に取り組みましょう。（学年×10分+10分）

■2 ICTの活用を推進します。

- (1) タブレット端末（ICT）の有効活用を図ります。情報活用能力を育成するとともに情報モラルについての指導を強化していきます。

■3 読書活動を充実させます。

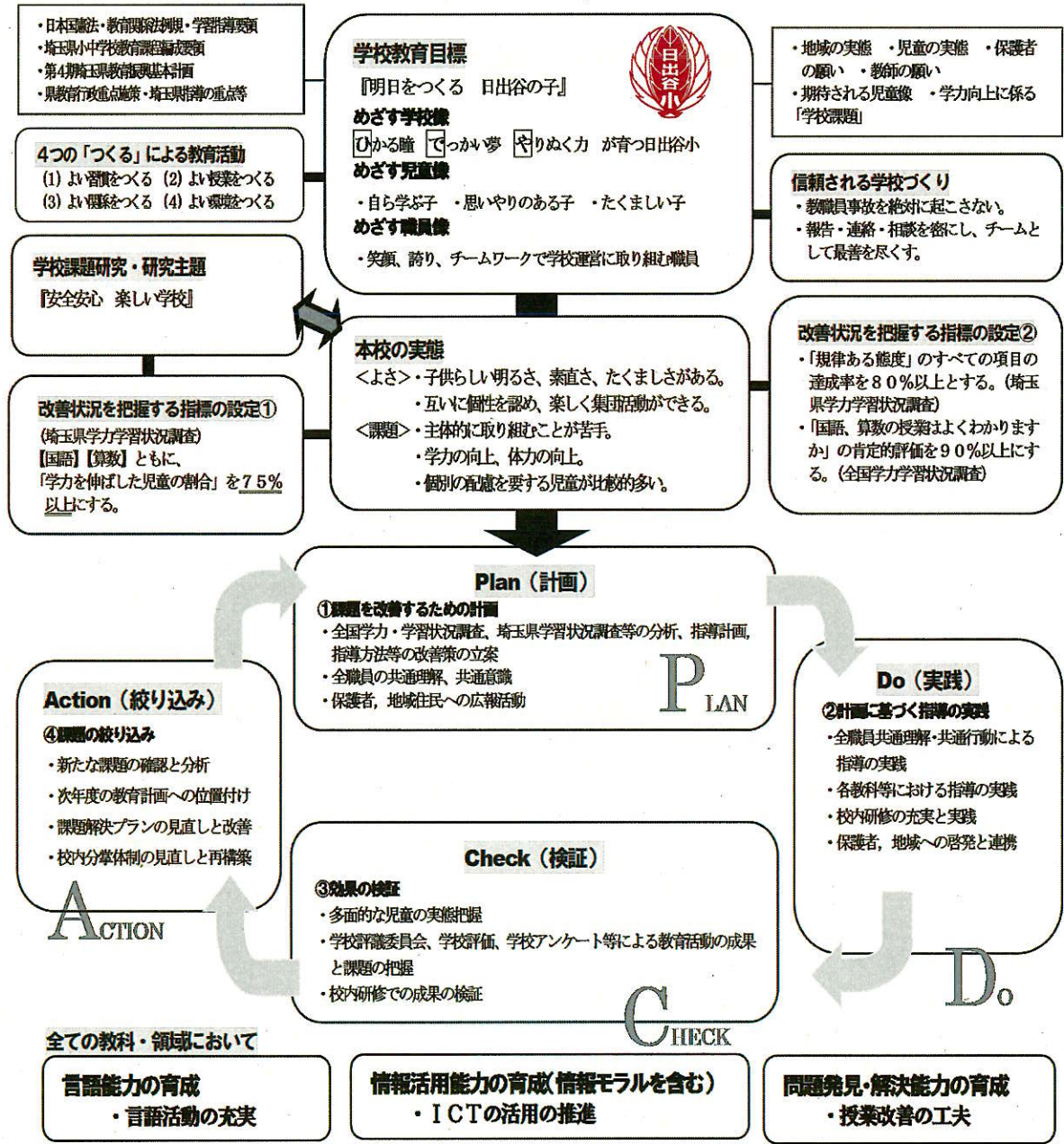
- (1) 本の世界（朝読書）では、全校一斉で読書したり、図書ボランティアさんによる読み聞かせを行ったりすることにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得につながる読書習慣の確立や読書力・情報活用能力の育成を図ります。

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

本校の学力向上プラン

令和6年度 桶川市立日出谷小学校 学力向上全体計画



改善の観点(具体的な取組)

	I	II	III	IV	V	VI
改善の観点	指導内容・指導方法の工夫	教育課程上の工夫	教育課程への対応の工夫	学習指導上の工夫	校内研修の計画と実施の工夫	家庭や地域との連携の工夫
取組の基本方針	基礎・基本の確実な定着を図る。少人数指導等を活用し、個に応じた指導を展開する。体系的な活動を増やす。	日出谷小の実態に合った特色ある教育課程を編成し、教師の授業力を高め、学力の向上を目指す。	「生きる力」を身につけるため、新学習指導要領に関する研修を実施し、年間指導計画等を計画して実施する。	児童一人一人が意欲をもって取り組み、子供たちのよさを伸ばすことができるように指導と評価の一体化を図る。	研究テーマを定めるため、全教職員の共通理解を図り、授業実践を通して研究を深め、教師一人一人の授業力を高める。	家庭や地域と連携し、学習規律、基本的学習態度等を身に付けさせる。
課題解決のための具体的取組	・基礎学力定着を図る時間を設定 ・児童の実態や単元の特性に応じた少人数指導の工夫 ・本の世界(読書の時間)の充実 ・各教科における授業の進め方の確立	・各教科、各学年間の系統的、発展的指導の工夫 ・単元の習得時間の工夫 ・個別化学習、異能者学習の計画的展開 ・放課後の授業準備期間の確保と教師研習の充実	・年間指導計画の見直しと改善 ・教材の作成と工夫 ・言語活動の充実を図る指導計画の作成と実施 ・情報の選択、活用方法を情報モラルの指導の工夫	・学習のねらいの明確化 ・単元アスト、ワーク、プリント等の工夫と実施 ・評価、評定の規程や手立ての工夫 ・自己評価、相互評価など評価方法の工夫と改善	・PDCAサイクルを確立した研修計画の立案 ・研究協議の徹底工夫 ・校務懇話会の実施 ・市教育委員会等関係機関との連携	・学校活動の活用 ・「日出谷小い子のやくそく」の徹底 ・「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の啓発と学習習慣の定着 ・生活習慣の改善を図る家庭教育の啓発
関連する行事等	・本の世界 ・課題研究推進委員会 ・授業研究会	・校内研修 ・企画委員会	・校内研修 ・企画委員会 ・教科調査部会	・校内研修 ・通知連絡委員会	・校内研修懇話会 ・県・市教委、学校訪問での授業公開、授業研究 ・市教職研究懇話会	・学校公開・学校説明会 ・授業参観、懇話会 ・個人面談

保護者・地域の皆様へ

日頃から日出谷小学校の教育活動に、ご支援・ご協力いただきありがとうございます。本校の児童は、毎日明るく、元気に学校生活を送っています。その中で児童の良さをさらに伸ばすために学力向上に取り組んでいます。学力向上は学校だけではなく、家庭・地域の連携のもと学んだことを確認したり、生かしたりする場が確保されることで実現します。そのため、学校から発信する各種のお手紙や課題として取り組んだものに目を通していただき、学習内容をお子さんと確認していただくと助かります。これからも本校の教育活動にご理解いただき、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

☆家庭生活において

- ① 規則正しい生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・早ね、早起き、朝ごはん
 - ・時間の使い方（ゲーム・テレビ等）を家庭でのルールとして決めてください。
- ② 家庭学習に取り組ませましょう。
 - ・学年×10分＋10分を目安にしましょう。
（例：2年生は30分、4年生は50分、6年生は70分）
- ③ 持ち物を準備させましょう。（忘れ物をなくしましょう。）
 - ・授業で必要なものをしっかり用意することが学習の一步です。忘れ物をなくすために家庭で声かけをよろしくお願いします。